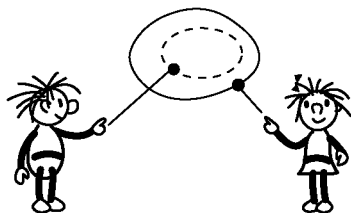


1) 数字は虫に食べられて分かれて分かっていくが、数え
なぐても分かるから考えてみよう」と話す。
2) 部分の囲みは点線----で示すことで暗示。
3) 部分と全体の多少を<=>で答える。
4) 抽象性が高いので困難な場合は深追いしないこと。

a) 部分と全体の関係を考える課題。
ピアジェによれば、幼児は部分と全体を同時に考える
ことが困難とされるが、過程を工夫すれば可能。
b) 部分と全体の認識は、数の操作、ことに引き算の理解の
前提としてとして重要である。

Date /
Note
評



どちらがおおくかこんでる?
<=>をかきいれよう

<=>